

路線変更の内容

運賃に変更はありません

路線定期運行…大人 150 円、小児 100 円
デマンド運行…大人 200 円、小児 100 円

廿日市地域（廿日市さくらバス）

一体的運行
広電バスと廿日市さくらバスの

人口減少やバス利用者の減少、働き方改革やバス運転士不足などの影響で、広電バスの経営状況が悪化し、現状の便数をこのまま維持するのは困難な状況となっています。
しかし、住民の日常生活における移動手段として利用されている路線バスは、特に朝夕の通勤・通学時に多く利用されています。そこで、利用実態を踏まえ、廿日市さくらバスと広電バスが一体的に運行することで、一定の利便性を確保しつつ、地域公共交通を維持します。

●阿品台ルート（旧西循環）

- ・阿品台～阿品駅間の運行を基本とした「阿品台ルート」に再編します。
- ・広電バスの減便を補完するため、阿品台北への乗り入れを行い、広電バスと一体的に運行します。
- ・一部の便はこれまでの西循環と同じく廿日市市役所前駅から陽光台、宮園、四季が丘、阿品台、阿品駅を結び、新たに国道2号を経由して JA 広島総合病院、廿日市市役所方面に運行します。

●宮内ルート

- ・広電バスの減便を補完するため、宮園、四季が丘への乗り入れを行い、朝夕を中心に宮園、四季が丘を広電バスと一体的に運行します。
- ・宮内地区を中心に居住地と廿日市市役所方面や JA 広島総合病院を効率的に結ぶため、現在の一方方向運行を双方方向運行に変更します。

広電バスとの定期券共通利用

広電バスとの一体的な運行に伴い、広電バスの定期券を、一部廿日市さくらバスでも利用できます。

※詳しくは、広島電鉄㈱ホームページで確認ください



●佐方ルート

新佐方大橋の整備に伴い、佐方四丁目方面から JR 廿日市駅北口へ乗り入れます。

●原ルート

日中の便を医療機関や商業施設が集積する陽光台へ乗り入れます。

●後畑ルート

（予約型乗合タクシー）
利用実態を踏まえ、11月30日（休）をもって運行を終了します。

佐伯地域（佐伯デマンドバス） 吉和地域（吉和さくらバス）

●中道・栗栖線（旧飯山・中道線）

対象区域を飯山地区から栗栖地区に変更します。

- ・乗り継ぎ拠点を吉和福祉センターから吉和ふれあい交流センターに変更します。
- ・吉和地域内を運行する「ほっとバス」のダイヤ改正も行われます。

時刻表の配布

変更後の新しい時刻表を、11月中旬ごろに対象地区へ戸別配布します。また、時刻表はバス車内や市役所交通政策課、各支所地域づくり係、各市民センターなどにも設置します。



詳しいダイヤ・路線は、市ホームページから▶

広電バス

広電バスと廿日市さくらバスの一体的運行に伴い、広電バス阿品台団地線、四季が丘団地線も12月1日（金）にダイヤが変更となります。

詳しくは、広島電鉄㈱ホームページを確認してください。

広島電鉄㈱ホームページ▶



さくらバスのダイヤ・路線が変わります



運行開始
12月1日（金）

問い合わせ
交通政策課 ☎ 9178

誰もが利用しやすい地域公共交通を目指して、令和5年7月に「廿日市市地域公共交通計画」を策定しました。

この計画を踏まえ、12月1日（金）からさくらバスの運行内容を変更します。

沿岸部は、廿日市さくらバス阿品台ルート（旧西循環）と宮内ルートが、広電バス阿品台団地線と四季が丘団地線との一体的な運行を開始し、佐方ルートと原ルートは、運行路線を変更するなどの見直しを行います。

中山間地域は、佐伯デマンドバスの運行区域を一部変更するなどの見直しを行います。

路線バスを利用し、一緒に地域公共交通を守り育てましょう。

